

自分の将来を考え、自己選択・自己決定するための進路指導のあり方

1. 設定理由

本校の生徒は素直で何にでも前向きに生活できる。ただ、言われたことはできるが自分から考えて行動することがなかなかできない面がある。自分の考えを人に伝えたり、人の意見を聞いて、自分で考えて結論を出したりすることを苦手とする生徒が多い中、自分で決めたり、人に伝えたりする活動の中で自分の将来と、今の自分とを見つめて考える能力を養いたいと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

各教科や特別活動、総合的な学習の時間の活動で、社会に目を向けると同時に、自分の役割を果たす機会を意識させることで、自分の将来について、自分自身で進路を選択し、決定していく力を育むことになるだろう。

3. 研究内容

- 「職業人講話」では、職業調べや職業インタビューを行い、職業観に触れた後で、職業人の講話を自分たちが運営する会で聞く。
- 「防災教育」では、滝野中が大災害によって避難所になった場合を想定し、中学生ができることを考える。
- 「職場体験学習」では、職場体験学習を2日間行い、その学習内容を1年生に向けてプレゼンテーションする。
- 「修学旅行」では、お世話になるシルバーガイドの方に事前に2度、事後に1度手紙を書いて、自分たちがどのような旅をしたいのかを伝え、交流を深める。

4. 結論

- 「職業人講話」では、事前学習で行った職業調べの内容を、1人ずつ発表をした。話すことを苦手とする生徒も、練習を行うことで自信を持って発表することができた。
- 「防災教育」では、学校を舞台にして行うことで、普段の学校の活動の延長線上に地域のために活動できることがあると意識することができた。
- 「職場体験学習」では、プレゼンテーションで他の人に伝えたいことを伝えるにはどうしたらよいか、考え、お互いの発表を見て学ぶことができた。
- 「修学旅行」では手紙の中で班別行動計画を立てた理由を説明するために、自分たちの思いや希望を明確にすることができた。

1. 研究主題

「自分の将来を考え、自己選択・自己決定するための進路指導のあり方」

2. 研究主題について

(1) 生徒の実態

利根川と印旛沼との間に位置する本埜地区は、広い水田と丘陵地が広がる地域である。1997年に町開きがおこなわれ、同時に本校が開校した。2010年市町村合併により、印西市となり、校名も印西市立滝野中学校に変更した。

学校が位置する住宅地周辺は豊かな自然環境があり、教育環境として恵まれている。学区は、開発された住宅地の範囲のため、生徒の通学距離は比較的短い。学区編成により、自転車通学も若干増えつつある。学区に隣接する用地では、住宅の建設が続いている。また、北総開発鉄道沿線にはショッピングモールや大型量販店が数多くあるので生活上便利である。保護者の学校への関心や期待は高い。2015年4月、学区内に牧の原小学校が開校したため、2016年度より、2校の小学校からの進学となっている。

生徒は素直で何にでも前向きに生活できる。ただ、言われたことはできるが自分から考えて行動することがなかなかできない。また、物事にがむしゃらに突き進んでいくというよりは、万遍なくそつなくこなす、冷めた部分も持ち合わせている。家庭の中では、少子化という現状もあり大切に育てられている。私立高校第一希望の生徒が毎年2～3割程度おり、「ここに行きたい」という生徒もいるが、「追い込まれるとかわいそう」「受検して落ちるよりは」という保護者の思いや、生徒の消極的な思いも見られるのが現状である。

進路選択では、いろいろな人からの情報を整理しつつ、自分の生き方について考え、どのような生活や人生を送ったらよいかを考えていく必要がある。自分の考えを人に伝えたり、人の意見を聞いて、自分で考えて結論を出すことを苦手とする生徒が多い中、自分の将来と、今の自分とを見つめて考える能力を養いたいと考えている。

(2) 学校教育目標

「次代を担う、豊かな心とたくましく生きる力を持った生徒を育成する。」

めざす生徒像

- 一、自ら進んで、粘り強く学習する生徒〈知〉
- 二、気持ちよくあいさつのできる心豊かな生徒〈徳〉
- 三、健康でたくましい体力づくりのできる生徒〈体〉

(3) 学校経営方針

本年度の重点目標

- ①安全・安心な教育環境・学校作りに努め、健康な身体を育むと共に、防災意識を高め、実践的な安全教育を行う。
- ②「生きる力」を育むため、学力向上に向けて、一人ひとりに基礎・基本の確実な定着を図るための授業を実践するとともに、応用・発展な内容も提供する。

- ③心の教育の充実のため、人権意識や共生の考え方に基づいていじめ防止に努め、道徳の時間の充実を図るとともに、生徒会活動・読書活動・体験的な学習を計画的に行う。
- ④若年層教員の育成に取り組み、全職員で授業研修の機会を確保して、資質や力量の向上に努める。
- ⑤学校改善を図るため、学校評価・業績評価を適切に行い、教育計画・組織・運営に改善を加え、参画型の学校経営・モラルアップを図る。
- ⑥特別支援教育の理解を深め、特別支援学級および通常学級に在籍する支援を要する生徒への、個に応じた指導の徹底を図る。
- ⑦家庭・地域との連携により、地域の特性を生かした教育を推進するとともに、小中の連携により、教育効果の向上をめざし、学習規律・生活ルールへの反映、相互授業・行事参観等を行い、9年間を見通した子どもの育成を図る。

3. 研究仮説

各教科や特別活動、総合的な学習の時間の活動で、社会に目を向けると同時に、自分の役割を果たす機会を意識させることで、自分の将来について、自分自身で進路を選択し、決定していく力を育むことになるだろう。

4. 研究の内容

生徒が、主体的に自分の進路を考え、選択・決定していくためには、学級活動、授業、行事や生徒会活動の中で、自分自身について知ること、自分の役割を果たすなかで集団で向上していくことの体験を増やしていくことが必要である。総合的な学習でのキャリア教育を進める上でも、自分で決めること、調べた内容や、自分の意見を発表すること、話し合い活動など他者と関わり高め合うことや、役割を担い、その役割を果たして人の役に立つことなどの体験を増やすことで、より、人間関係・社会形成能力や課題対応能力が高められ、主体的に進路を自己選択、自己決定することができるようになると思う。

5. 実践内容 総合的な学習の時間における活動

(1) 第1学年「職業人講話」

①目的

- ・職業人の話を直接聞くことによって、職業の種類や働くことへの興味関心を高める。
- ・職業人の姿が仕事によって様々あることに気づき、職業に対する視野を広める。
- ・望ましい職業観・勤労観を形成し、将来の進路選択の参考とする。

②実施日時 2017年10月3日(火)5・6校時

③場所 1学年各教室、特別教室

④講座

- ・ホテル総料理長(調理師)
- ・近畿日本ツーリスト(ツアーコンダクター)
- ・もとの保育園(保育士)
- ・HONDA(自動車開発担当)
- ・日本赤十字社(看護婦)
- ・柏レイソル(チームマネージャー)

前半と後半の2講座を選択する。

⑤学習計画

期日	題材	ねらい
6～7月	「職業について調べる(1)」	職業や働くこと、働く人に関心を持ち、多様な職業、職業の多様な面を知り、今後の進路学習について学ぶ意欲を持つ。
	「職業について調べる(2)」	自分の関心のある職業について調べる活動をとおして、進路情報の重要性や探索方法を知り、進路情報活用への知識と技能を高める。
	「職業について調べる(3)」	2年生の職場体験の発表を聞き、職場について深く知り、今後の進路学習や職場体験学習への動機づけと意欲を高める。
夏休み中	「職業について調べる(4)」	夏休み中に、身近な人に職業や働くことについて聞くことで、いろいろな働くことについての考えを知る。
9月	「職業について調べる(5)」	夏休み中に調べたことを発表することで、自分の今の夢や希望を自覚し、友だちと共有する。
	「職業人講話当日の流れの確認」	当日の流れを確認し、司会者、最初の質問者、案内係の選出等、打ち合わせを行う。
10月	10月3日(火)「職業人講話」	※1. 目的参照
	「礼状作成」	講師に来て下さった先生方に礼状を書くことで、感謝の気持ちを伝える方法を学ぶ。
	「進路学習のまとめ」	将来の設計と進路に関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢を持つ。

★職業調べ・職業インタビューのどちらかを選び、1～2分で発表する。聞く人は大事どころ、心に残ったことをメモする。

働く人についてみよう ～職業インタビュー～
～準備～ 氏名

①職業の名称は何ですか？
②その仕事の内容はどのようなものですか？
③具体的にどんな仕事内容ですか？
④この仕事に就くための必要な資格や条件はありますか？
⑤どんな思いを持ってこの仕事をしていますか？
⑥この仕事を通して、どんな思いや学びの点などありますか？
⑦この仕事を通して、つらい思いや感じる点などありますか？
⑧これからの事を教えてください。

職業調査用紙
①仕事の内容
②この仕事に必要な（資格・免許など）
③ふさわしい人

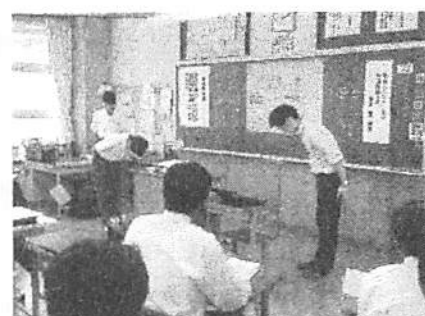
職業インタビュー～職業調べ結果の報告会評価用紙

1. 発表者氏名
2. 発表内容
3. 発表時間
4. 発表場所

発表者	発表内容	発表時間	発表場所
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			



職業人講話の様子



職業調べと発表会の生徒の感想

- ・調べてみて、あらためて動物とかかわりのある仕事に就きたいと思った。もっと多くの仕事を調べて将来を考えたい。
- ・お父さんは想像以上に大変な仕事をしているんだなと思いました。

職業人講話の感想

- ・今のうちからいろいろな仕事に関心を持ち、自分はどんな仕事に就きたいのかを考えるようにしたい。
- ・夢は最後まであきらめなくて追いつけることが大事だということが分かった。自分のやりたい仕事ができるようにチャンスを無駄にしないようにしたい。
- ・自分が仕事について大変でもあきらめなくて頑張っていきたい。
- ・陰の努力をみんながやっていると聞き、自分も日ごろの生活から努力しないといけないと思いました。

【成果と課題】

- 事前学習で職業調べを行い、1人ずつ新聞を書き、クラスで順番に発表をした。話すことを苦手とする生徒も、練習を行うことで自信を持って発表することができた。
- 当日までの準備で司会、案内、号令等役割を決めて練習をし、自分たちで会を運営しようと協力できた。2講座受けるので、それぞれ違う役割を担い、お互いに助け合うことができた。
- 2講座で2人の職業人の話を聞くことで、実際にイメージしていたことと同じこと、違うことがいろいろわかり、学ぶことが多かった。
- 講師に来てくださった方から礼状をいただいたので、それを紹介し、そのような思いに応えるにはどのようなことをお礼として述べたらよいのかを考えて丁寧に書くことができた。

(2) 第1学年「防災教育」

「学校が避難所になる時」～いざその時に備えて～

①目的

- ・災害についての正しい知識と、防災のあり方について理解を深める。
- ・災害発生時、発生後に必要となる知識・技能を身に付ける。
- ・災害発生時、発生後に大切な社会性や公德心を養い、地域の一員としての責任を自覚する。

②学習テーマ

滝野中が大災害によって避難所になった場合を想定し、中学生が出来ることを考えることにより、いざという時に適切な行動をとれるようにする。

③活動計画

(1) 東日本大震災における中学生が地域で果たした奇跡(NHK番組)

(2) 滝野中における防災の備えを知る

- ・ハザードマップによる被害予測
- ・行程の防災倉庫見学
- ・避難所運営マニュアルの紹介

(3) 避難所シミュレーション1

- ・もしも学校が避難所になったら?という視点で、自分たちが活動できる内容を避難所マニュアルを見ながら、各委員会の活動内容をベースにして考え、クラスの委員会で集まって検討する。

(4) 避難所シミュレーション2

- ・前半は検討の続き。後半は各委員会から発表。

(5) HUGゲームの実施

- ・避難所運営ゲームの実施

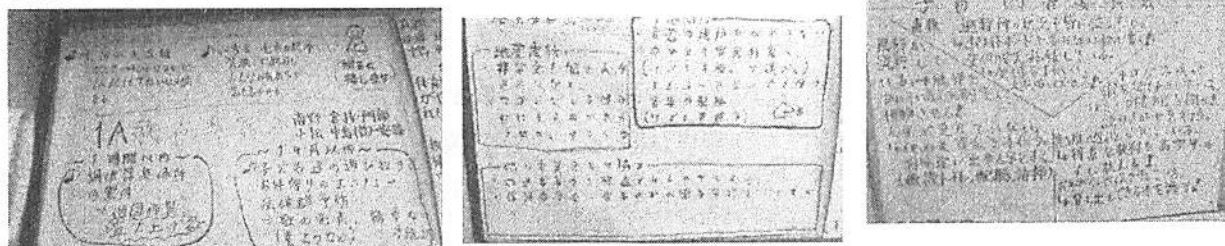
(6) HUGゲームの反省会

- ・ゲームをやってみて困ったこと、解決できなかったことについて、他班から意見やアドバイスをもらう。

(7) 日本赤十字社職員の講話

- ・実際に被災地で活動した経験を持つ日本赤十字社職員の方の講話を聞く。

委員会の発表用紙



委員会発表会の感想

- ・自分たちにできることは少ないが、少しでも安全になるように、みんなが明るくなるようにしていくことが大切だと思った。
- ・今回考えたように、震災になったら委員会ごとに協力してみんなでやっていきたい。
- ・普段やっている委員会活動が、緊急の場合にも役立つことがわかった。

【成果と課題】

- 各委員会ごとに、学校が避難所になったときにできることを考え、自分たちが普段学校で行っている活動の延長線上に地域のために活動できることがあると意識することができた。
- 他の委員会の活動聞き、中学生としての役割を考えることができた。
- 学校を舞台にして行うことで、現実味を強化することができた。
- HUGゲームを行うことで、「実際に地震が起きたら」を具体的に想定することができ、実践力を身に付けることとの重要性がわかった。

(3) 第2学年「職場体験学習」

①目的

- ・勤労生産・奉仕的行事を体験することにより、学ぶことや働くことの尊さや意義を学ぶ。
- ・実際の職場で働くことにより、将来の職業選択の参考とする。
- ・職場に誇りと責任を持って働く人々に直接触れることにより、職業や進路の啓発的体験を得る。

②実施日

2018年10月23日(火)、24日(水)基本 9:00～15:00 (事業所によって異なる)

③学習内容

職場でどのような作業が行われ、働いている方々がどのような考えを持って仕事をしているか、実際に作業を体験、見学し、学習する。

④体験場所

29事業所

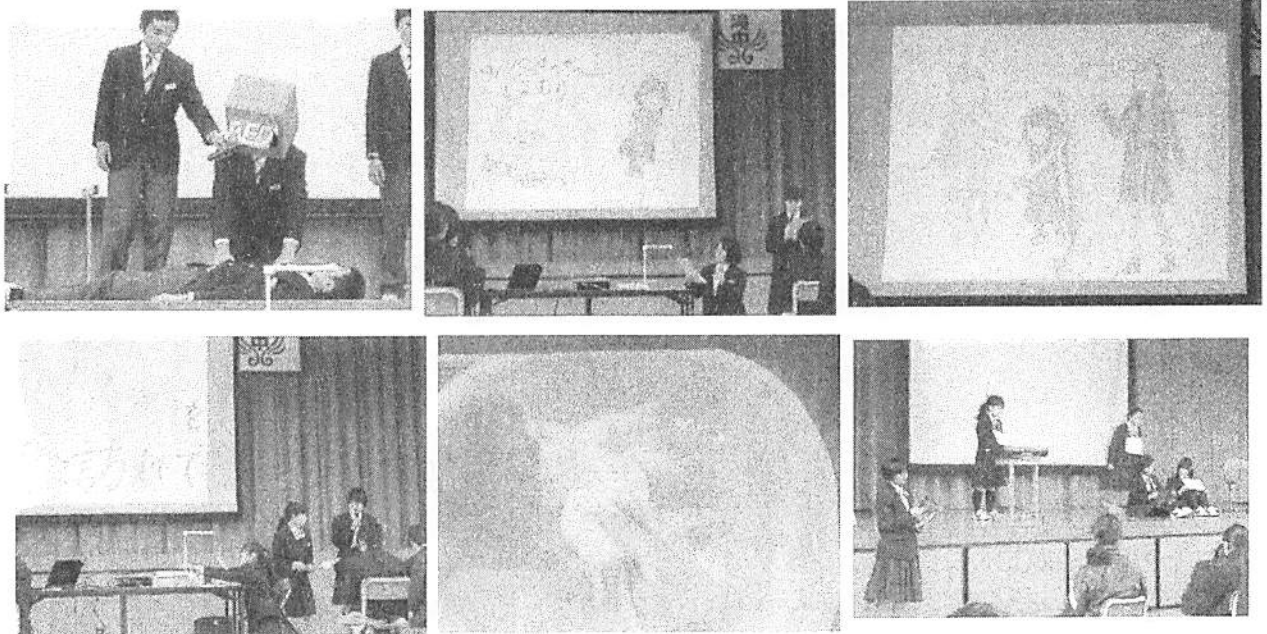
⑤実施計画

事前学習	7月	①進路学習 職業体験ガイダンス 中学生活と進路P32, 33 「職業について考えよう」
	9月	②進路学習 中学生活と進路P38, 39 「体験したい職場を発見しよう」 職場体験第一次希望調査
	10月	③職場体験第二次希望調査→事業所決定 ④進路学習 進路適性検査 ⑤自分が体験する職場の職業調べ(事前調査) ⑥グループ編成・代表決め ⑦会社・事業所事前打ち合わせ(全員) 9月20日(木) 21日(金)27日(木) 5時間め～
当日	10月23日(火) 24日(水)	⑧「職業人としての振る舞い・マナー等」 ⑨当日の計画書作成 ⑩事前集会 10月22日(月)5時間め
事後学習	10月～11月	⑪各訪問先で体験・見学をする。 ⑫礼状の作成・報告書、新聞等の作成。 ⑬学年内発表会 ⑭1, 2年合同発表会

生徒の感想

- ・野菜を農家の人が丹精をこめてつくっているのに心が動いた。野菜には、作った人の愛が入っていると思った。仕事はやらされているのではなく、自分のためにやっていると思った方が、仕事ははかどると思った。
- ・職場の方々はとても明るく挨拶してくださったり、わかりやすく教えてくれたりした。お金をもらうことがとても大変だということが分かってよかった。何にでも全力で取り組むことが必要だと思いました。
- ・仕事をするということについてわかったことにより、将来への考え方について少しわかった。どんな仕事でも人の役に立っているのだから、与えられた仕事を精一杯頑張る。
- ・自分が頑張って仕事をすれば、声をかけてくださるお客様がいることを知れたことがよかった。人とのかわりは予想以上に多く、お客様に説明している場面などたくさん見られた。コミュニケーション力と説明力が必要だと感じた。
- ・保育士の仕事について自分が知っていたよりも知れたし、新しくわかったことがたくさんあってよかった。学校でやっている、時間で行動するなどの基本的なことがとても大切だということが今回の体験でわかりました。
- ・お客さんが喜びそうな話をすることや、受け身になって話を聞くことが大事だなと感じた。普段の会話でも「聞く」ことを意識していきたい。
- ・郵便局の仕事についてたくさんのことを教えて頂きました。その一つ一つに責任がかかっているんだなとしみじみと感じました。一つの挨拶、一つの言葉でも、自分や相手の気持ちが変わっているんだと思いました。たった一言だけど、感謝や尊敬の気持ちがこもるんだと思いました。
- ・2日間働くだけでも大変なのに、両親はほぼ毎日のように働いてくれているので、とてもありがたいと思いました。
- ・父は、よく土曜日まで会社に行っていることがあります。2日間体験してみて、仕事には気をつける事がたくさんあると思いました。その大変な時間が、土曜日もあったらと思うと、私は気がとおくなりました。父の仕事も大変なんだろうと思い、感謝しました。

1, 2年合同発表会の様子

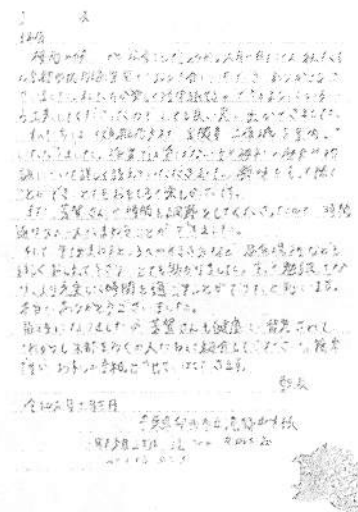
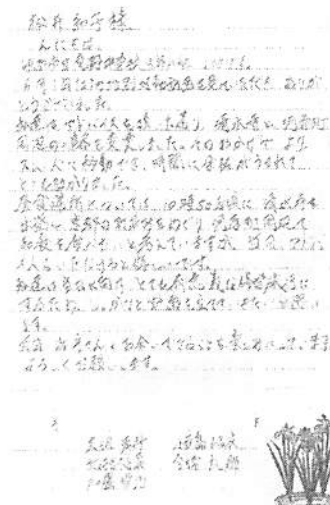
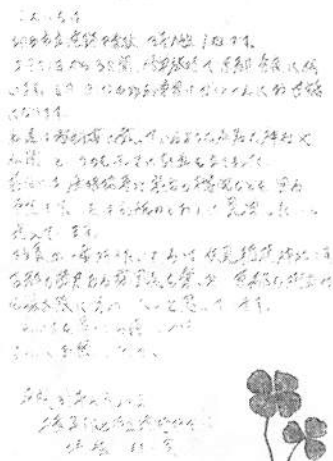


【成果と課題】

- 働くことの意義や大変さ、働いている人の心構えなどを知り、これからの進路選択の参考となった。
- 実際に体験をしたことで、それまでのイメージと違うことを学んだ。
- 社会に出て働かさせていただくことで、挨拶や返事、言葉遣いなどの礼儀やマナー等の大切さを学ぶことができ、学校生活で身に付けていこうと考えることができた。
- 社会の一員としての大切さを自覚し、主体的に活動することができた。
- 保護者にとって、子どもの将来の夢や進路について話し合う良い機会となった。
- 1、2年生合同発表会、学年内発表会を行い、全員が発表した。他の人に伝えるにはどうしたらよいかを考え、工夫して行うことができた。プレゼンテーションの場としても貴重な体験になった。
- 発表会に向けて、パワーポイント、実物投影機を使った紙芝居、寸劇、模造紙など様々な媒体で自分たちが学んだことを表現しようと工夫できた。
- △体験する職業や、働くことについて、興味関心を持ち、事前によく調べていく必要があるが、時数上厳しい。
- △事業所によっては、引き受けてくださったものの、生徒に活動をさせるために仕事を作るなど苦心されている部分もあるようだったので、事業所にとっても無理のない範囲で引き受けていただきたい。ただ、その場合に学校側の要望と異なる場合があるので、そのようなときにどうするかは学校で考えておく必要がある。

（4）第3学年「修学旅行」シルバーガイドさんとのかかわり

修学旅行では、1日めに奈良方面の班別行動、2日めに京都方面の班別行動を行った。2日めは午前中にシルバーガイドの方に同行していただくので、班員の立てた行動計画表を送るとともに手紙のやりとりを行い、意思の疎通をはかって充実した時間を過ごせるようにした。案内をしてくださる方に、自分たちがどのようなことを考えて、何を希望しているのかを伝えることは重要である。ガイドの方に旅のコースを決めた理由を手紙に書くところから始め知ること、コース決めも主体的に考えて取り組むことができた。



【成果と課題】

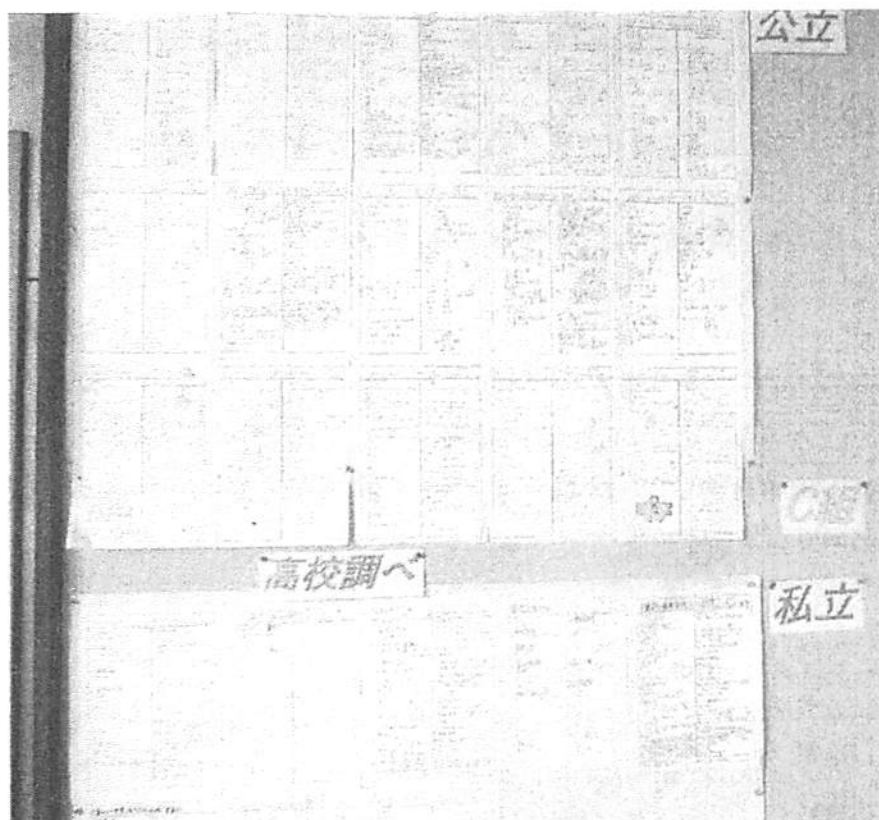
- 班別行動計画を立てた理由を説明するために、自分たちの思いや希望を明確にすることができた。

- ガイドの方からの返信もいただいて、コースを再検討したり、変えずに自分たちの希望を述べたりし、班長や副班長が班の活動に責任を持って取り組むことができた。
- 例年、ガイドの方のアドバイスが自分たちの希望と違っていても言えずについていき、「本当はここに行きたかったのに」などと反省をすることがあるが、お互いの意見を知っているため、行きたいところに行ったり、アドバイスを受け入れたり自分たちにあった選択をとれた。

(5) 第3学年「高校調べ」

1学期に、他の人に紹介をすることを目的に1人1校、上級学校調べを行った。50校ほどのリスト(過去に本校から進学している学校)をつくり、クラスで担当を決めて調べた。フォーマットは提示していたので、3時間の学習と宿題で取り組むことができた。

夏休み中には、高校見学、体験入学等に1人最低3校は行って、報告書を書くことを宿題にしている。



【成果と反省】

- あまり高校名を知らない生徒も、自分で決める活動の中でいろいろな学校があると知ることができた。
- 友だちの書いた新聞を見て、それぞれの学校の特徴を理解することができた。
- 1人1校の担当なので責任を持って取り組むことができた。
- △同じような資料で調べているので、工夫がしにくい。

(6) 第3学年「全校面接」12月第1週

面接の練習を学年で行った後、他学年の学年主任、副担任の先生を中心に生徒を割り振り、面接指導をしている。

①目的

- ・基本的なマナーを知り、社会性を身につけさせる。
- ・面接指導を通して、本人の意志の再確認をする。
- ・教員全体で、3年生の進路決定に向けて取り組む。

(義務教育最終学年でもあるので、実際に受験で面接がない生徒にも全員行う)

②期日 12月中の担当の先生の都合の良い日。(必要に応じて1月に再練習)

※生徒の割り振りは3学年でおこない、担当の先生方の都合で、日にちを指定する。

③その他 進路に関する面接指導を行ったことのない先生方は、この機会に最低1回はサブ面接官として参加してください。なお、その場合は担当の面接官の先生とご自分の学年主任に断ってください。

【成果と反省】

- 普段あまり関わりのない先生方と行うことで、緊張感をもち、「相手に伝わるように」話そうとすることができる。
- 担当の先生への事前の挨拶や、その場の準備等を含めて、自分たちで礼儀正しく運営しようという場になる。
- 経験の少ない教員にとって面接指導を積極的に学ぶことができる。
- △担当の職員によって差がでることがある。

(7)起業人に学ぶ(予定)

生徒たちは将来、現在は存在しない職業に就く可能性が高い。実際に「ちきゅうすくい」を考えて起業した方を招き、講話をしてもらうことを計画している。既存の業種ではなく、職業そのものを作る人の話を聞くことで、生徒たちも将来の可能性を広げることができると思う。

5. まとめ

- ・それぞれの活動の中で、進路や職業について考えることができた。
- ・準備や事後活動での取り組みでは、自分の責任を果たして、集団の一員、社会の一員としての役割について考えることができた。そのためには、何のために活動をしているのかをいろいろな職員の立場(学年主任、担任、副担任、教科担任 etc.)から折に触れて伝える必要がある。職員が共通理解して、活動を進めていくことが大切である。
- ・人前で説明をすること、自分の考えを述べることについては、日々の教科の学習や、朝の会の1分間スピーチでも取り入れており、その成果は上がってきている。現3年生は、入学時は「人前で話す」ことを責任あることととらえられず、話せない生徒も多く、また話せなくてもよいという雰囲気もあったが、いろいろな場面を設定してきたことで鍛えられてきている。
- ・行事に取り組む中で自分の得手不得手や、好きなことを知り、将来の進路選択に向けての材料とすることができる。そのための働きかけをしていきたい。
- ・キャリア教育は3年間を見通した活動であるが、各学年に任されている部分が多い。学年の実態に合わせた活動にできるが、学校として共通した方針や手立てを設定して行うことも必要である。

職業について調べよう

1年 組 番 氏名 ()

1. 調べ方

①図書室の本で調べる。

※ただし、冊数に限りがあるため、図書室で調べるのみ。

②パソコンを使って調べる。

※パソコン室のパソコンの台数、使える時間にも限りがあるので、自宅にパソコン等インターネットが使える環境にある人は、自宅で調べたものをプリントアウトして資料として使う。

※パソコン室のパソコンを使用する場合は、プリントアウトは不可。

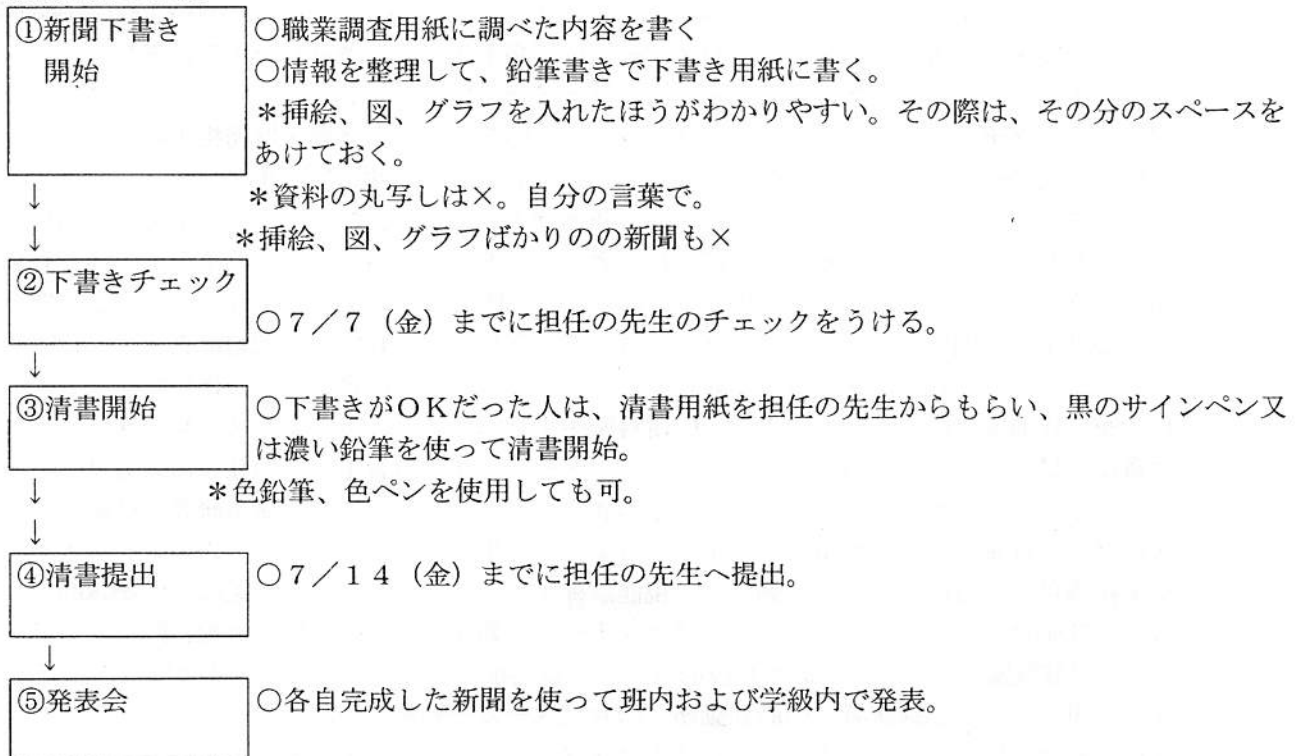
2. 職業一覧

- アクチュアリー ○アニマルヘルステクニシャン (動物看護師) ○あん摩マッサージ指圧師
- アナウンサー (キャスター) ○アニメーター ○アナリスト ○アロマセラピスト ○医師
- イラストレーター ○インダストリアルデザイナー ○インテリアプランナー ○一般事務
- 医療秘書 ○インテリアコーディネーター ○イベントプランナー ○医療ソーシャルワーカー
- インテリアデザイナー ○英会話学校講師 ○AVデザイナー (ビデオディレクター)
- エネルギー系研究・技術者 ○映画監督 ○栄養士、管理栄養士 ○演出家
- 接客営業 (訪販セールス) ○エステティシャン ○OA機器インストラクター ○音楽療法士
- 音楽家 ○音響エンジニア ○音楽教室講師 ○ガーデンデザイナー ○介護福祉士 ○画家
- 歌手、ミュージシャン ○学校職員 ○看護師 ○海外現地ガイド ○海上保安官
- 化学系研究・技術者 ○ガス会社勤務 ○家庭裁判所調査官 (補) ○海洋工学系研究・技術者
- 学芸員 ○外交官 ○カスタマーエンジニア ○カラーコーディネーター ○介護職員
- キーパンチャー ○義肢装具士 ○企業内研究員 ○救急救命士 ○銀行員 ○議員秘書、秘書
- 着付け師 ○企業向け営業 (法人営業) ○CADオペレーター ○きゅう師・はり師 (鍼灸師)
- 機械系研究・技術者 ○きものアドバイザー ○気象予報士 ○キャビンアテンダント
- 行政書士 ○クッキングアドバイザー ○クリエイティブディレクター ○グランドスタッフ
- グラフィックデザイナー ○ケアマネージャー ○芸術家 ○経理・財務担当者
- 化粧品会社勤務 ○原子力系研究・技術者 ○建築大工 ○経営コンサルタント
- 芸能マネージャー ○ケースワーカー ○言語聴覚士 ○建設会社勤務 ○警察官 ○刑務官
- ゲームクリエイター ○検察官 ○建築技術者 ○航海士 ○高校教諭 ○小売・流通業勤務
- 国家公務員 ○航空管制官 ○広告代理店勤務 ○国際公務員 ○コピーライター ○航空整備士
- 公認会計士 ○国税専門官 ○コンビニ・スーパー店長 ○裁判官 ○細胞検査士 ○作家
- 雑誌ライター ○裁判所事務官 ○雑貨ショップ店員 ○裁判所書記官 ○作業療法士
- 作詞家、作曲家 ○CGデザイナー ○歯科衛生士 ○システムアドミニストレータ
- 児童厚生員 ○自動車整備士 ○シナリオライター ○社会教育主事 ○社会保険労務士
- ジュエリーデザイナー ○小学校教諭 ○消費生活アドバイザー ○食品系研究・技術者
- 人材派遣会社勤務 ○診療情報管理士 ○自衛官 ○歯科技工士 ○システムエンジニア
- 児童指導員 ○自動車メーカー勤務 ○視能訓練士 ○社会福祉士 ○獣医師 ○塾講師
- 証券会社勤務 ○消防官 ○ショッププランナー ○新聞記者 ○診療放射線技師 ○歯科医師
- 司書、司書教諭 ○システム監査技術者 ○児童福祉司 ○司法書士 ○社会福祉施設寮母 (寮父)
- 柔道整復師 ○手話通訳者 ○商社勤務 ○食品メーカー勤務 ○心理カウンセラー
- 水産系研究・技術者 ○スポーツインストラクター ○スーパー・コンビニ店長
- スポーツトレーナー ○スタイリスト ○生活指導員 ○税理士 ○精神保健福祉士

- セールスエンジニア ○声優 ○接客営業（訪販セールス） ○葬祭ディレクター ○速記者
- 装丁家(ブックデザイナー) ○ソムリエ ○測量士(補) ○大学教員 ○大使館勤務 ○タレント
- 畜産系研究・技術者 ○中小企業診断士 ○地方公務員 ○調香師 ○中学校教諭 ○調理師
- ツアーコンダクター ○通訳 ○ツアープランナー ○通訳ガイド ○通関士 ○DJ
- テキスタイルデザイナー ○TVディレクター、プロデューサー ○電子、電気系研究・技術者
- ディスパッチャー ○鉄道会社勤務 ○電気工事士 ○電車の運転士 ○ディスプレイデザイナー
- デパート勤務 ○電機メーカー勤務 ○電力会社勤務 ○土地家屋調査士 ○トリマー
- 動物飼育係、トレーナー ○土木系研究・技術者 ○特別支援学校教諭 ○トラック運転手
- 日本語教員 ○入国審査官 ○ネイルアーティスト ○ネットワーク技術者 ○パイロット
- 農業系研究・技術者 ○俳優 ○パン職人 ○パティシエ ○販売担当者 ○不動産鑑定士
- 秘書、議員秘書 ○ビューティアドバイザー ○美容師 ○ファイナンシャル・プランナー
- ブックデザイナー(装丁家) ○ブライダルコーディネーター ○プロダクトマネージャー
- ファッションデザイナー ○フードコーディネーター ○フラワーコーディネーター ○弁護士
- プログラマー ○フォトグラファー ○不動産会社勤務 ○フラワーショップ店員 ○弁理士
- プロスポーツ選手 ○ペットショップ店員 ○編集者 ○保育士 ○放送技術者 ○薬剤師
- ホテルマン、ホテルウーマン ○法人営業(企業向け営業) ○訪販セールス(接客営業) ○モデル
- 保険会社勤務 ○翻訳家 ○放送記者 ○法務教官 ○保健師 ○マーケティングリサーチャー
- マーチャンダイザー ○マンガ家 ○ミュージシャン、歌手 ○プロスポーツ選手 ○養護教諭
- メイクアップアーティスト ○薬品メーカー勤務 ○幼稚園教諭 ○理学療法士 ○料理研究家
- 臨床工学技士 ○流通・小売業勤務 ○林業系研究・技術者 ○臨床心理士 ○理容師
- 臨床検査技師 ○レポーター ○労働基準監督官 ○和菓子職人 ○和裁士

職業は他にもあります。自分で知っている職業を選択してもかまいません。

3. 新聞作成の手順



「学校が避難所になったら？～委員会活動でできること～」

学校が避難所になったら、中学生でもできることは何かないだろうか？自分たちの委員会活動でできることを話し合って考えてみよう。

想定：20XX年12月10日正午、千葉県北西部を震源とする震度7の巨大地震が発生。滝野中の周囲でも家屋の損壊が多数発生し、体育館が避難所となった。

時期・条件	想定されるトラブルの内容
<p>【地震直後】 電気・水道・ガス、全て停止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館に大量の避難者がやって来たが、窓ガラスが割れて床に散乱しており体育館内に入れない状況にある。 ・避難者の中には怪我人も多数いて、重傷者は病院へ搬送したが、擦り傷や軽い捻挫などの怪我人が手当を受けられないでいる。 ・避難者名簿の作成が必要だが、先生や市役所の担当者の人手が足りず、受付が大混雑している。 ・緊急用発電機で放送設備のみ電源を確保できたが、放送設備の使用方法が分からずに混乱している。 ・情報が混乱しているので、掲示板が必要だが体育館のホワイトボードだけでは足りない。 ・夕方、防災倉庫の非常食を配布しようとしたが、人手が足りずに配布できない。 ・校舎自体は無事だったが、廊下や教室の窓ガラスが割れて、校舎内が危険な状況で物を取りに入れない。 ・夕方になり、気温が下がって体育館内がとても寒くなってきたが、ストーブの灯油が切れてしまった。灯油倉庫には燃料はまだある。 ・夜間に備え、防災倉庫から毛布200枚を運ぼうとしたが、人手が足りない。
<p>【地震発生から1週間以内】 電気のみ回復。 水道、ガスは未だ回復せず。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの水が流れず、便器に汚物が溜まっている。しかも、しばらく下水道の復旧は見込めない状況。幸いにプールの水は満タン。 ・防災倉庫にある仮設トイレを建てようとしたが、人手が足りないので建てられない。 ・体育館内の床が汚れて、泥だらけになってきた。 ・防災倉庫内の非常食が無くなり、避難者で食材を持ち寄って火をおこし、自炊することになったが、食器や調理器具の場所も分からない。 ・食事が出来たが、体育館まで運び、配膳する人数が足りていない。 ・自衛隊の給水車が定期的に水を運んでくれることになったが、お年寄りや体の不自由な方は、水の配給に並ぶことが出来ない。 ・手洗いも満足に出来ないので、風邪が流行し始めた。水を使わずに手を消毒する手立てが必要な状況。

<p>【地震発生から1ヶ月】</p> <p>電気、水道、ガスは復旧。しかし、体育館には未だ避難者が多数居る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は再開していないので、小さな子ども達が暇を持てあまして暴れていることが多かった。 ・小学生高学年の児童は、勉強の遅れを心配しだしている。 ・お年寄りの方々もずっとやることがなく、一日中体育館でぼんやりとしていて、よくため息をついている。何か少しでも楽しめることが必要となっている。 ・お年寄りの一人が、ずっと椅子に座ったまま過ごしていたところ、エコノミー症候群になって病院に運ばれてしまった。お年寄りにも、定期的に軽い運動が必要な状況。 ・ボランティアの方々が避難所運営の手伝いに来てくれるようになったが、到着直後は学校周辺の地理が分からないので迷っていることが多い。 ・中学校が授業再開の準備を始めたが、校舎内が汚れており授業の出来る状態ではない。
--	---

【みんなで話し合ってみよう】

学校が避難所になると、様々なトラブルが発生すると思われます。極限状態の中で、避難者同士が協力し合いながら少しでも良好な環境を作り上げる必要があります。東日本大震災では、みなさんと同じ中学生達が避難所の運営に多大なる貢献をした実例もあります。いざその時に備えて、自分たちの委員会活動をいかして、何ができるかを話し合ってみましょう。

例：体育委員会の場合

時期	対応すべき問題と解決方法
<p>【地震発生から1ヶ月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの一人が、ずっと椅子に座ったまま過ごしていたところ、エコノミー症候群になって病院に運ばれてしまった。お年寄りにも、定期的に軽い運動が必要な状況。 <p>→体育委員会で毎朝5分間、座って出来る簡単な体操を行うこととし、参加を呼びかけるチラシを作って一枚一枚お年寄りに手渡しすることにする。また、避難者全員に情報が届くように、掲示版にもチラシを貼り、放送でも案内してもらう。体操の実施にあたっては、お年寄りの側に体育委員が付き添って、運動の手本を示しながら補助も行う。</p>

1 学習・図書委員会

直後 避難所の状況を皆に伝えたい。
 ↳ ホワイトボードや要らない紙に書く!
 風邪が流行して 受付が大混雑している。
 ↳ 受付を手伝い、人を並ばせる!
 いる。→ 風邪をひいている人を別室に移動させる!
 小さな子供が暇を持てあましている。
 ↳ ミニ図書館を開く!
 ↳ 読みかきかせを行う。
 人手が足りていない。
 ↳ 他の委員会を手伝う。
 勉強の遅れを心配している。
 ↳ 得意な教科を高学年の子に教える!
 自分達に出来る事をする。(仮設トイレ、配膳、清掃)
 ↳ 年寄りかばんやしている。
 ↳ 貸し出しできる本を渡す!

A組

環境委員会

地震直後 1週間以内 1ヶ月後

体育館に大量の避難者がやってきましたが窓が割れて体育館に入れなかった。 体育館内の床が汚れて泥だらけになっていた。 中学校が授業再開の準備を始めましたが校舎内が汚れている。

↓

教室や体育館などから掃除道具を持ってきてガラスの破片を集めて捨てる。その後避難者を体育館へ誘導する。

↓

環境委員や他の人も集め皆で清掃活動を行う。トイレの水が流せず

↓

ボールの水をバケツなどでくむ

↓

校舎内清掃
窓が割れて寒い。
○窓にダンボールをつける
割れてない窓はテープでダンボールを貼ると暖かくなる!

給食委員会


地震直後

- ・非常食を配る人手が足りない
- ・ワゴンなどを使う
- ・動ける人がいたら手伝ってもらう

1週間後

・食器の場所が分からず
安全なら家庭科室へ
(ワゴンを使い、運ぶ。)
アルコールラシプスを使う

・食事の配膳
(ワゴンを使う)



他の委員会との協力

- ・放送委員会に放送で知らせてもらう。
- ・保健委員会に食事の時の衛生管理をしてもらう。

♪受付が大混雑
ホスター呼びかけなどで、
人々に丁寧に対応する

♪非常食・毛布の配布
笑顔で配布し、
みんなの気持ちを
落ち着かせる



1A歌声会

~1週間以内~

♪調理器具場所の案内
→地図作製
盛り上げる

~1ヶ月以内~

♪子ども達の遊び相手、
お年寄りのエコー
症候群予防
→歌の発表、簡章
(童謡など)

HUG ってなあに？

日本は、世界有数の地震国であり、いつでも大地震が発生しても不思議ではありません。大地震が発生した場合、家屋の倒壊や津波、火災、山・がけ崩れなどにより、被災した多くの人々が避難所での生活を強いられることとなります。

もし、あなたが避難所の運営をしなければならない立場になったとき、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対応すれば良いのでしょうか。

避難所 HUG は、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

プレイヤーは、このゲームを通して災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出しあったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。

HUG は、H (hinanzyo 避難所)、U (unei 運営)、G (game ゲーム)

の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。

避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けました

ゲームのしかた

1. 読み上げ係を決める

避難所 HUG は、カードを読み上げてゲームを進めますので、グループに1人読み上げ係が必要です。読み上げ係はゲームの進行や助言役にもなりますので、このゲームを経験したことがある方にするとよいでしょう。

2. スペースを作る

ゲームスペースに、「体育館」、「敷地図」、「間取図」、「教室」用紙を置きます。「教室」の用紙はどの教室を使うかわからないので、全部広げる必要はありません。

カードは、読み上げ担当者が手に持ちます。カードをゲームスペースに置くと、気の早い参加者が手に取りバラバラにしたり、順番を乱してしまうことがあるからです。

3. ゲームの設定条件を説明する

避難当日の、設定条件（震度、気象条件、季節、時間、被災状況、避難者の様子）を説明します。

設定条件は基本的に任意ですが、参考設定（P. 7）を記載しますので、最初はこの設定に沿ってゲームをされると便利です。

4. 自己紹介をする

「アイスブレイキングシート（簡単自己紹介）」用紙を使ってグループの中で自己紹介をします。各自が名前等を書き始めてから、グループ内全員の自己紹介までが5分間で終了するようにします。ときどき、長話をする人がいるので注意しましょう。

これはアイスブレイキングという手法で、簡単な自己紹介を通じて、初対面で緊張している参加者の心をほぐすのが目的です。

シートに記載されている以外の項目でも構いませんが、災害の体験を話してもらうと、とても効果的です。

十分な時間がないとか、知り合いの集まりだからということで、省略したくなるかもしれませんが、ア

イスプレイキングをしないとしないとは、その後のゲームの進行や雰囲気には大きな差が出ますので必ず行ってください。

5. ゲーム開始と作戦会議

カードの1番から15番までを読みあげてからスペースに出し、プレイヤーは体育館にどのように配置するかを相談します（通路や地区名を体育館の用紙に書き込むことも自由です）。

カードは、1世帯分をまとめて読みあげます。必ず読みあげてからプレイヤーに渡してください。プレイヤーが前のカードを配置しながら次の避難者の状況を聞くためです。読みあげずに渡すと、プレイヤーは特定の文字を拾い読みしてしまい、カード情報を部分的にしか把握しないので対応が深まりません。また、カード情報をグループ内に周知することでプレイヤー全員が危機感を持って対応にあたりません。

カード1枚は1.5m×2.0mで、面積が3平方メートルとします。これは、避難者1人あたりの必要面積です。

15番までの中に、「誰ともなく受付を作ろうと言った。」というイベントカードが1枚入っています。このカードの場合は、受付の場所を決めようという意味ですから、敷地図、体育館または間取図のどこかに「受付」と記入します。

6. ゲーム本番以後、次々とカードを読み上げます。

雨が降っていると設定した場合は、のんびり読んでいると避難者がびしょ濡れになってしまいます（晴れの設定であっても、避難者は一刻も早く入室したいという気持ちを、常に考えておかなければなりません）。

カードを読みあげるときは、プレイヤーが前のカードを配置し終わる前に次のカードを読みあげるのがコツです。実災害のときは、避難者は待ってくれません。

ゲーム本番は、基本的に立って行ないましょう。動作の自由度が増し、会話が活発になります。

7. ゲーム終了の準備

カードをすべて配置したら、ゲーム終了です。

あらかじめ、ゲーム時間を決めておくこともできます。その場合は、終了予定時間が近づいたら、読み上げ係を2人にしてスピードアップをするか、読み上げを終了し、残りのカードを紹介したりグループで回し読みをします（この作業は5分程度で終了します）。

8. まとめ

ゲーム終了後には、意見交換の時間を設けます（基本は30分程度です）。

用意したメモ用紙（付せん）を全員に配付し、次の質問を記入します。

私たちのグループでは、〇〇は△△だから、××しました。他のグループではどうしましたか？

例

私たちのグループでは、盲導犬は、人と同じように扱うべきだと思ったので、家族といっしょに1年2組に入ってもらいました。他のグループでは、どうしましたか？

記入したメモ用紙（付せん）をグループでまとめ、グループから1つを選んで発表してもらいます。その質問に対して、他のグループから意見を求めます。この質問を何回か繰り返して、他のグループとの比較検討を行います。

以上でゲームは終了です。

静岡県HPより

第3学年 進路学習

組 番 氏名 _____

★テーマ

卒業後のさまざまな学ぶ道 ～上級学校調べ～

1. 高等学校のいろいろな分け方を知ろう。

	国公私	学校名		国公私	学校名		国公私	学校名		国公私	学校名
1	国	木更津高等専門学校	13	公	東葛飾	25	公	下 総	37	私	日体柏
2	公	船橋	14	公	柏	26	公	佐 倉	38	私	中央学院
3	公	葉園台	15	公	柏 南	27	公	八千代	39	私	東京学館
4	公	船橋啓明	16	公	柏 陵	28	公	市立習志野	40	私	東京学館船橋
5	公	船橋北	17	公	柏の葉	29	公	市立柏	41	私	成 田
6	公	国 分	18	公	我孫子	30	公	市立松戸	42	私	千葉日大一
7	公	幕張総合	19	公	我孫子東	31	私	芝浦工大柏	43	私	日大習志野
8	公	松戸国際	20	公	白 井	32	私	秀明八千代	44	私	八千代松陰
9	公	松戸六実	21	公	印旛明誠	33	私	聖徳大付属女子	45	私	流通経済大柏
10	公	松戸南	22	公	成田西陵	34	私	専修大松戸	46	私	麗 澤
11	公	松戸向陽	23	公	成田国際	35	私	千葉英和	47	私	江戸川女子
12	公	鎌ヶ谷	24	公	成田北	36	私	千葉商科大付属			

※太字斜体は普通科以外の学科を設置してある学校

2. 表の学校から1人一校分担当し(同じ高校にならないように)、その学校を調べよう。完成したものは掲示するので、仲間と情報を共有するために丁寧につくろう。

(1) 調べる内容

項 目	内 容 等
1. 所在地	〇〇市〇〇 〇—〇—〇
2. 交通手段	滝野から高校までの交通手段(印西牧の原駅—小室駅—徒歩)
3. 募集人数	学科が2つある場合はそれぞれで。
4. 学校の概要	
(1) 制服	イラストまたは文章で
(2) 校訓・教育目標	
(3) 学習内容	特徴的な教育課程など(単位制、コースなど)
(4) 学校の特徴	その学校の取り組みや活動、施設面、学習面など
(5) 部活動	部活動の種類や、結果など
5. その他	卒業後の進路状況や調べた感想・わかったこと・セールスポイントなど

(2) まとめ用紙

- ・A4縦(横書き) ・黒ペンで清書
- ・文字は大きすぎず、小さすぎず(読みやすいように)
- ・タイトルや注目ポイントなどは、文字を大きくしたり、太くしたりする。
- ・文字以外で色鉛筆の使用は可。背景を付けたり、イラストなど(派手にならないように)

【その他】

6月27日(木)(クラスによっては28日)と、7月11日(木)に取り組む。 提出締切は7月16日(火)とする。